

2023 年 9 月 26 日

東洋インキ株式会社

# プラスチックに印刷された UV インキを脱墨する技術を確立 25 年に自動販売機の商品見本シートのリサイクルを事業化

東洋インキ株式会社（代表取締役社長 柳 正人、東京都中央区）は硬質プラスチックに印刷された UV インキを除去できる脱墨コーティング剤を開発いたしました。本技術を用いて自動販売機の商品見本シートのリサイクル化に取り組んでおり、事業化すると UV インキの脱墨システムを開発した日本初のメーカーとなります。

プラスチックに施された印刷は、必要な情報を表示したり、意匠性を高めるなど重要な役割を担いますが、基材からの分離が難しくリサイクル促進を阻害する要因の一つとなっています。特に硬質プラスチックの印刷に用いられる UV インキは塗膜が固く硬化しているため脱墨が困難でしたが、この度東洋インキは UV インキ用脱墨コーティング剤を開発し、UV インキの脱墨システムを確立いたしました。基材となるプラスチックと UV インキの間に本コーティング剤を塗工することで、アルカリ処理により UV インキを取り除くことが可能になります。水性（熱乾燥）、UV 硬化型の 2 タイプをラインナップし、オフセット、フレキソ、樹脂凸版、コーターなど様々な塗工方法に対応します。

事業化第 1 弾として、株式会社協同制作（代表取締役社長 立石 昌紀、東京都中央区）と協業し、自動販売機で使用される商品サンプルシートの脱墨に取り組みます。飲料容器は、容器本体部分はリサイクル化が進んでいますが、自動販売機の商品サンプルのリサイクルは難易度が高く、廃棄するほかないのが現状です。これまでも商品サンプルを立体的なダミー缶から PET 製のフラットシートに転換することによる減プラの取り組みが行われてきましたが、さらに商品サンプルシートの印刷時に東洋インキの脱墨コーティング剤を用いることで、リサイクル時に UV インキを除去し透明に近い再生プラスチックを取り出すことが可能になります。現在、量産化に向けたラインテストを実施しており、25 年の事業化、30 年の全量リサイクル化を目指し、脱墨システムの構築を進めてまいります。

東洋インキは、印刷インキのリーディングカンパニーとして、印刷インキを基材から脱離する技術を開発することで、これまでも複層フィルム包装のリサイクル化など、プラスチックの資源循環推進に取り組んでまいりました。使用済みプラスチックの再資源化を推進し、循環型社会の実現に貢献してまいります。

## ■関連リリース

プラスチック製容器包装の革新的リサイクル技術を確立

<https://schd.toyoinkgroup.com/ja/news/2019/19061101.html>

複層フィルム包材におけるマテリアルリサイクル技術の協業で伊藤忠商事と合意

<https://schd.toyoinkgroup.com/ja/news/2020/20121601.html>

## News Release

東洋インキ株式会社 〒104-8378 東京都中央区京橋2丁目2-1 京橋エドグラン Tel: 03-3272-3435 Fax: 03-3272-3436  
Toyo Ink Co., Ltd. Kyobashi EDOGRAND Bldg., 2-1, Kyobashi 2-chome, Chuo-ku, Tokyo 104-8378 JAPAN  
Tel: +81-3-3272-3435 Fax: +81-3-3272-3436 URL: www.toyoink.jp Mail: info@toyoinkgroup.com

「JAPAN PACK 2023」にフィルムパッケージ向けリサイクルシステムを出展

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2023/23091201.html>

※ TOYOINK、および TOYOINK ロゴは、東洋インキ SC ホールディングス株式会社の商標もしくは登録商標です。

以上

本件に関するお問い合わせ先	報道・出版関連、その他一般の方々
東洋インキ株式会社 マーケティング本部 事業企画部 TEL 03-3272-0919 FAX 03-3272-3383	東洋インキ SC ホールディングス株式会社 グループ広報室 TEL: 03-3272-5720 MAIL: <a href="mailto:info@toyoinkgroup.com">info@toyoinkgroup.com</a>